

富山県感染症発生動向速報

(2026年第24週分・6月8日～6月14日)

■今週の主な動向

○手足口病の報告数が6.14人/定点となり、警報開始基準を超えています。

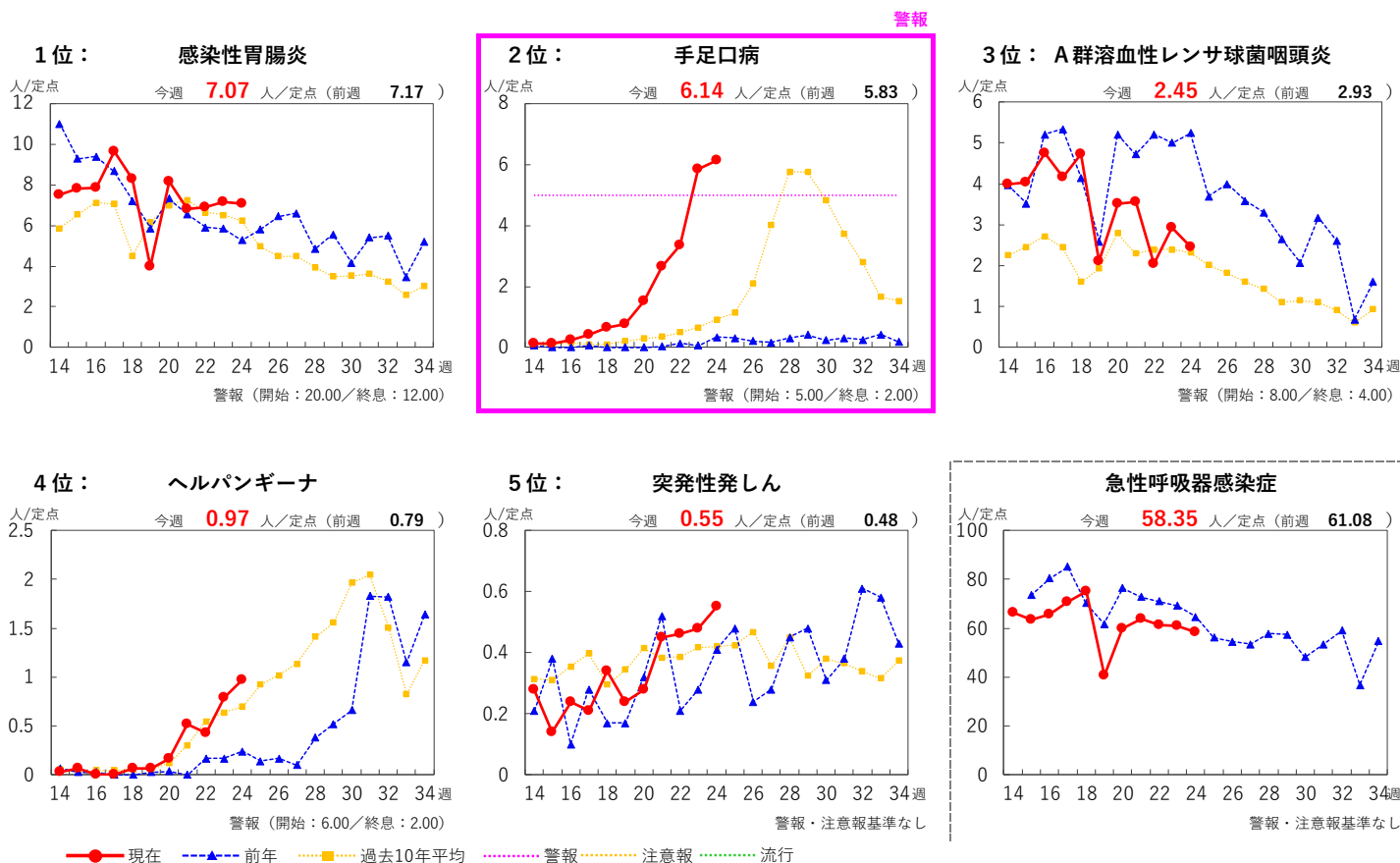
手足口病の報告数は今週 6.14 人/定点となり、先週に引き続き警報レベル開始基準値（5.0 人/定点）を超えています。患者は2歳以下の乳幼児が中心です。特徴的な症状は、手のひらや足の裏、口の中の水疱を伴う発疹です。おむつ交換やトイレの後、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。（今週のインフォメーション参照）

○ヘルパンギーナの報告数が増えています。

患者の年齢は1歳が最も多く、5歳以下が患者の90%を占めています。特徴的な症状として、突然の高熱、口腔内の水疱、のどの痛みがみられます。例年夏季に増える季節性があり、今後の動向に注意が必要です。（2025年第30週インフォメーション参照）

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患 + 急性呼吸器感染症（第24週・6/8～6/14）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 2件（①②共に20歳代、男性）
- 四類感染症 レジオネラ症 2件（①②共に60歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む） 1件（第21週診断分：30歳代、男性）
- 多剤耐性緑膿菌感染症 1件（第23週診断分：90歳以上、女性）
- 梅毒 1件（70歳代、男性、無症候）
- 麻しん 1件（20歳代、男性）



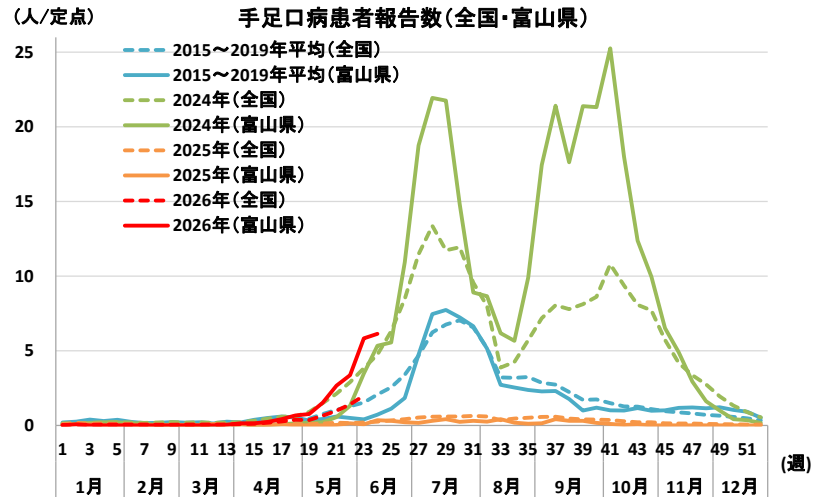


患者数増加中！ 気を付けよう手足口病

《 インフォメーション 》

●手足口病

手足口病は、一般に夏季に報告数が増加し、例年7月下旬頃（第28～30週）に流行のピークを迎えることが多いです。2024年には全国的に大きな二峰性の流行がみられた一方、2025年には明らかな流行はみられませんでした。2026年には第14週（3/30～4/5）から全国的にわずかに増加傾向になっています（図）。これに対し、富山県



では、第19週から全国に比べ定点当たりの報告数が増加し、第24週には6.14人/定点となり、先週に引き続き警報レベル開始基準値の5.0人/定点を超えました。今後、夏季に向けて患者報告数がさらに増加する可能性があるため、発生動向に注意が必要です。

手足口病は、コクサッキーウイルス（CA6、CA16、CA10）やエンテロウイルス（EV71）など複数のウイルスが原因となる感染症です。患者は2歳以下の乳幼児が中心ですが、大人が感染することもあります。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中などに水疱を伴った発疹がみられます。また、発熱やのどの痛み、食欲不振などを伴うことがありますが、多くは軽症で、発疹は3～7日で消失します。一方で稀に、幼児を中心に髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの神経系合併症を起こすことがあります。急な高熱、おう吐、痙攣（けいれん）、意識障害などの症状が現れた際は、速やかに医療機関を受診してください。なお、現時点で手足口病に対する有効なワクチンや抗ウイルス薬はありません。手足口病にかかった場合は、経過観察を十分に行い、合併症に注意しましょう。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る糞口感染、水疱内容物からの接触感染です。症状が消失した後も、2～4週間は便中にウイルスが排出されることがあります。また、感染しても発症しないままウイルスを排出している場合もあります。日頃から基本的な感染対策を徹底し、次のことに注意して感染予防を行いましょう。

- おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石鹸で手を洗う。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- タオル等の消毒には、アルコールは効きにくいいため希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第24週 2026年6月8日～2026年6月14日）

分類	疾患	今週報告分（第24週）					累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		1	2	2	1	11	3	26	43
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							2	1	3	3	17	26
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2		3		2	7
四類感染症	E型肝炎									1			1
	レジオネラ症			1		1	2	1	1	5	1	7	15
五類感染症	急性脳炎							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	5	9
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		4	2	4	12
	水痘（入院例）							1				2	3
	多剤耐性緑膿菌感染症									1		1	2
	梅毒					1	1	3	2	7		10	22
	破傷風											1	1
	百日咳							1				7	8
	麻しん					1	1					1	1
急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	244	188	917	226	1,226	2,801	7,693	7,015	26,151	7,398	32,899	81,156
		34.86	37.60	70.54	32.29	76.63	58.35						
	インフルエンザ					1	1	1,442	1,207	3,344	1,431	4,682	12,106
					0.06	0.02							
COVID-19	1		4	1	3	9	274	142	277	148	519	1,360	
	0.14		0.31	0.14	0.19	0.19							
小児科定点 （29定点）	RSウイルス感染症	1		5	2	4	12	28	11	125	28	101	293
		0.25		0.63	0.50	0.40	0.41						
	咽頭結膜熱			8		2	10	28	20	168		67	283
				1.00		0.20	0.34						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	10	28	3	19	71	136	182	1,290	211	1,185	3,004
		2.75	3.33	3.50	0.75	1.90	2.45						
	感染性胃腸炎	26	37	23	4	115	205	649	519	1,018	262	3,093	5,541
		6.50	12.33	2.88	1.00	11.50	7.07						
	水痘			2		4	6	3	15	37	9	88	152
				0.25		0.40	0.21						
	手足口病	4	10	55	9	100	178	4	46	304	30	249	633
		1.00	3.33	6.88	2.25	10.00	6.14						
	伝染性紅斑			1	4		5	8	3	22	8	12	53
			0.13	1.00		0.17							
突発性発しん		1	8	2	5	16	6	16	68	18	82	190	
		0.33	1.00	0.50	0.50	0.55							
ヘルパンギーナ		3	6	3	16	28	15	13	25	6	44	103	
		1.00	0.75	0.75	1.60	0.97							
流行性耳下腺炎							3		2	1	6	12	
眼科定点 （7定点）	流行性角結膜炎	1					1	9	2	8	1		20
		1.00					0.14						
基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎											1	1
	無菌性髄膜炎							1					1
	マイコプラズマ肺炎							9		3	2	4	18
	クラミジア肺炎										2		2
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							55	41	49	40	101	286
	COVID-19による入院患者							18	16	7	11	58	110

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

全数把握
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）